

# 西南学院小学校 学校長メッセージ

## 「学校通信 Wings 2024年5月号」

わたしはよい羊飼いである。

(ヨハネによる福音書10章11節)

貴校の生徒である小学生の子たちの立派な行動に心から敬意を表したく、このメールを送らせていただきます。

昨日16日、六本松付近の西鉄バスの車内にて、高齢の女性が乗車で戸惑っておられましたら、貴校の制服を着た男の子たちが回数券の取り方や料金の支払い方を教えて親切に手助けしている姿をみました。この思いやりのある行動は、乗車中の私たち大人にとっても見習うべきもので、その場にいた多くの人が感動しました。

このような公共性のある行動ができる生徒がいることは、貴校の教育方針の素晴らしさが示されているものと存じます。私たちは、貴校の全ての教職員の皆様と、そのような素晴らしい生徒を育てているご家庭に感謝の意を表します。

今後とも、貴校の教育方針をお守りいただき、より多くの生徒が社会に関わられることを期待しております。引き続き、素晴らしい教育を提供していただきますようお願い申し上げます。

先月学校に届いたメールです。

外部の方から届く電話やメールには、「西南学院小学校の子どもたちの行動に困っています。」というものが多く、子どもたちに日々登下校時の指導を繰り返している教職員は、一人ひとりの理解と行動に繋がっていないのだなとがっかりしてしまうことがあります。

そんな中いただいたメールが上記のものです。

子どもたちは、見えないところで良い行動をいろいろとしているのではないかと思うのですが、見てもらおうと思ってしていることではないことなので、おそらくなかなか伝わってこないのかもしれない。

チャペルで今回のことを子どもたちに報告し、「誰なのか教えてくださいね。」という呼びかけに対しても、反応はありませんでした。

「人に見せるために人前で善行をしないように気をつけなさい。そうでないと、天におられるあなたがたの父から、報いが受けられません。

だから、施しをするときには、人にほめられたくて会堂や通りで施しをする偽善者たちのように、自分の前でラッパを吹いてはいけません。まことに、あなたがたに告げます。彼らはすでに自分の報いを受け取っているのです。」(マタイによる福音書 6章 1~4節)

今回のことを通して、このみことばを思い出しました。おそらく、子どもたちは自分が良く思われたいという考えがあったことではないと思います。ただ困っている人を前にして自分ができていることを一生懸命行ったのでしょう。「自分を大切にするように、周りの人を大切にすること」が自然に行動に表れた結果だったのだと思います。本当に嬉しい嬉しい出来事でした。

※ あとで、誰か分かった際に、「みんなしていることだから、当たり前のことだと思っていた」とも言っていました。

六年生もスクールリーダーとなって活躍しています。何人かの子どもたちが、「委員会の委員長になりました。」と報告してくれました。その際に、「みんなの笑顔が広がるように頑張ります！」と言っていた委員長さんもいました。頼もしい限りです。

また、一年生の先生に頼まれたわけではないのに、ランチに慣れていない一年生に最後まで寄り添って励ましている六年生もいました。いろんな場面で大きな成長を感じています。

お昼の放送では、「みんなの良いところを見つけましょう。」ということで、良いことの紹介が始まりました。西南学院小学校中の子どもたちが、お互いの良いところを認め合い、励まし合いながら、笑顔がさらに広がっていくことを願っています。

良いことが、いっぱいいっぱい西南学院小学校の子どもたちから発信されて、みんなが幸せになりますように！

(文責 黒木佐幸)